

第11回「風に出あう会」

～わたしのこころとあなたのこころのバリアを取り除くために～

この催しは、「誰もが“あたりまえの暮らし”ができる社会になるように、皆のこころがさわやかな“風に出あう”ように、参加される皆様方とのふれあいが出来ますように」と願って、年1回開催し今年は第11回目を迎えました。今回は、広い分野でご活躍中の女性政策研究家の三井マリ子氏をお招きして、この現代社会において、あらゆる分野で課題となっている差別・偏見等について、一般的にひろく捉えたお話をしていただくことになりました。

“人は地域の中で暮らすことがあたりまえ”とされています。老若男女を問わず、こころはだれでも皆おなじです。「障害のある人も、障害のない人も、お互いに地域の中でよりそって」生きていけるよう、偏見のない社会になるよう協力し合って暮らしていけたらよいとの目的を持って開催いたします。

日時： 平成28年12月7日(水)
13時30分～16時30分(開場13時)

場所： ハートピア京都 大会議室

住所：京都市中京区烏丸丸太町下ル東側

交通：市営地下鉄 丸太町駅下車 5番出口すぐ

費用： 無料 先着順(定員200名)

内容： 講演会「こころのバリアフリーにむけて
みんなができること」

講師：三井マリ子さん



女性政策研究家。お茶の水女子大卒、フルブライト奨学金で米コロンビア大学 MA(修士)修了。都立高校教員から都議会議員(2期)。都議時代、都に新設させた「セクハラ」の公的対策は全国に大きな影響を与えた。法政大学講師等を経て、大阪府豊中市男女共同参画推進センター すてっぴ 初代館長、福井県武生市(現越前市)初代男女平等オンブッドを歴任。

全国フェミニスト議員連盟を創設し初代代表、「女性議員増」に携わる。

申込み不要です。どなたでも皆さまお誘い合わせの上ご参加ください!

*講師著書、施設の作品展示・手作り小物、コーヒー等の販売を予定しています。

主催 京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会 風のリンケージ・京都市

<問合せ先>京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会「風のリンケージ」事務局

京都市こころの健康増進センター相談援助課内

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30

TEL075-314-0355 FAX075-314-0504



京都市
CITY OF KYOTO



シルバリーボランティア

三井マリ子 (みつい まりこ) さんプロフィール

女性政策研究家。お茶の水女子大卒、フルブライト奨学金で米コロンビア大学 MA（修士）修了。都立高校教員から都議会議員（2期）。都議時代、都に新設させた「セクハラの公的対策」は全国に大きな影響を与えた。法政大学講師等を経て、大阪府豊中市男女共同参画推進センター 初代館長、福井県武生市（現越前市）初代男女平等オンブッドを歴任。全国フェミニスト議員連盟を創設し初代代表、「女性議員増」に携わる。

ノルウェーの暮らしをルポした「世界でもっとも住みやすい町」が週刊金曜日ルポタージュ大賞佳作入賞（2011）。女性差別撤廃条約を体現する活動をしてきたことに対して赤松良子賞受賞（2012）。『ノルウェーを変えた髭のノラ：男女平等社会はこうしてできた』（明石書店）、『バックラッシュの生贄』（旬報社）、『女たちのパワーブック』（かもがわ出版）、『ママは大臣パパ育児』（明石書店）、『セクハラ110番』（集英社）など著書多数。ブログFEM-NEWSで、世界の女性ニュースを翻訳紹介している。

シルバーリボンをご存じですか？

シルバーリボンは、脳や心に起因する疾患（障がい）およびメンタルヘルスへの理解を促進することを目的とした運動のシンボルです。

シルバーリボン運動は、1993年に米国カリフォルニア州で産声を上げました。長男が統合失調症を患い、その病と周囲からの無理解や偏見に苦しんだジーン・リーシティー氏が、統合失調症に対する理解を求めて手作りの銀のリボンを配ったことが始まりです。

それから9年後の2002年、シルバーリボン運動に大きな転機が訪れます。統合失調症を罹患しながらもゲーム理論の研究を行い、ノーベル経済学賞を受賞して、同じ病気で苦しむ方々に希望や勇気をもたらしたジョン・ナッシュ氏をモデルとした映画「ビューティフル・マインド」の監督ロン・ハワード氏が、アカデミー賞授賞式でオスカーを掲げながら、胸に輝くシルバーリボンをアピールしました。

シルバーリボン運動はそれをきっかけに、同年誕生した日本事務局を筆頭に、後にメキシコやシンガポールなど世界各国に広がっていきました。

「脳や心に起因する疾患（障がい）への理解ある社会の実現を目指す」、私たちシルバーリボンジャパンは、その理念を掲げて啓発活動を展開しています。

日本においても、精神保健福祉ボランティア活動のあらゆる場面において紹介され、拡がりを見せるようになりました。

このキャンペーンを行うことで、ひとりでも多くの人に、このリボンをつけてもらい、偏見や差別のない社会の実現を目指すことに貢献したいと考えています。

どうぞ、あなたもシルバーリボンを毎日、胸につけてください！



SILVER RIBBON CAMPAIGN
for the Brain
IN JAPAN

Since 1993

Buzz Aldrin
Tipper Gore
Ron Howard

…あなたの胸にシルバーリボン…
脳に障害がある人への偏見をなくすために、あなたにできること
(シルバーリボンキャンペーンはボランティアによる非営利活動です)

SILVER RIBBON CAMPAIGN
FOR THE BRAIN
IN JAPAN

空を飛ぶ 鳥たちは
人間を
障害者と思うだろう
でも空を飛べなくたって
みんなで協力しあえば
人間って
けっこう 楽しい
空は飛びたいけれど・・・